

## 障害児教育における人事行政 (2)

— 中学校「特殊学級」の設置状況 —

On the Personnel Management of Special Schools and Classes (2)

— Number of Special Classes of Lower Secondary Schools in Tottori Prefecture —

障害児教育教室 渡 部 昭 男\*

### はじめに

障害児教育における人的条件の整備は、障害児の「教育を受ける権利」の実質保障を達成する上で極めて重要な要件となっている。既に、職員録を用いた分析手法については別稿<sup>1)</sup>で論じた。本稿は、鳥取県を事例にした「障害児教育における人事行政」研究の第2報である。

『鳥取県教育関係職員録』の分析は、①小学校特殊学級<sup>2)</sup>、②中学校特殊学校、③障害児教育諸学校の3パートに便宜上分割して行い、後に関連も考察する手順で進めたい。まずは、先行研究<sup>3)</sup>によると担任人事に問題の多いと推測されるとともに、特殊学級及び担任数が比較的少ない中学校から作業を開始した。ここでは、分析を開始する前提作業として、中学校特殊学級の設置状況に関して『鳥取県教育関係職員録』の記載の正誤を確認し、併せて延べ担任数を確定した。

### I. 中学校内特殊学級の設置状況

#### 1. 『学校基本調査報告書』に基づく設置状況

まず、全国的な統計報告に基づいて、設置状況を把握した。文部省『学校基本調査報告書』には1957年度版から都道府県別の特殊学級数が掲載されている。その結果を表1(左半分)に示した。特殊学級の障害種別は途中から統計区分に変更があるが、「精神薄弱」学級の多い鳥取県の中学校の場合、支障はない。

『学校基本調査報告書』によれば、1957年度には既に、鳥取県の中学校に特殊学級が4学級開設されている。ところで、注意しなければならないのは、鳥取県の場合、養護学校の前身として、①国立校の特殊学級、②公立校の施設内特殊学級が長らく設置されていたことである。これら養護学校の前身としての特殊学級については、後ほど障害児教育諸学校のパートで分析を行う予定である。従って、公立中学校の、しかも施設内特殊学級を除いたいわば「中学校内特殊学級」に限定して、設置状況を把握する必要がある。表1の\*印において、除外する国立校及び施設内特殊学級の確定を行った。

#### (1) 国立鳥取大学教育学部附属中学校特殊学級

1962年度に附属小学校に特殊学級が開設されたのに続いて、附属中学校においても1964年度から学年進行で特殊学級が設置された<sup>4)</sup>。『学校基本調査報告』の統計は、1968～72年度の5年度間は国公私

\* Akio Watanabe : Department of Special Education, Faculty of Education, Tottori University.

立の合計を記載していた。鳥取県で当てはまる私立校の事例はないので、この5年度間は附属中学校の3学級を除く必要がある。なお、附属中学校の特殊学級は、1978年度から附属小学校の特殊学級と併せて鳥取大学教育学部附属養護学校に昇格し、解消した。

#### (2) 米子市立第二中学校整肢学園分校

肢体不自由児施設整肢学園内に、1955年9月に米子市立第二中学校の分校が開設されている<sup>5)</sup>この施設内特殊学級が、行政的に認可された鳥取県下における戦後初の中学校特殊学級であった。施設内以外に、中学校内特殊学級として肢体不自由児学級が開設されたことはない。なお、整肢学園分校は、1963年度から肢体不自由養護学校である県立米子皆生学園に昇格し、解消した。

#### (3) 鳥取市立湖東中学校白兎分校

国立鳥取療養所の病虚弱児の教育保障を目的に、1958年10月に鳥取市立湖東中学校の分校が開設されている<sup>6)</sup>年度途中の開設の為に、各年度5月1日現在の統計である学校基本調査においては翌1959年度から計上されている。この分校は、1961年度から鳥取県下初の養護学校である鳥取市立養護学校白兎学園(病弱)に昇格し、解消した。なお、身体虚弱児特殊学級は、白兎分校と次に述べる皆浜分校のみで、中学校内特殊学級としては開設されていない。

#### (4) 米子市立第二中学校皆浜分校

国立米子療養所内の病虚弱児を対象に、1959年1月に米子市立第二中学校の分校が開設されている<sup>7)</sup>皆浜分校は、1962年度から米子市立養護学校皆浜学園(病弱)に昇格し、解消した。

#### (5) 倉吉市立西中学校皆成分校

精神薄弱児施設皆成学園内に、1956年11月<sup>8)</sup>(10月<sup>9)</sup>に倉吉市立西中学校の分校が開設された。精神薄弱児対象の施設内特殊学級はこの分校のみである。皆成分校は、1972年度から倉吉市立養護学校(精神薄弱)に昇格し、解消している。

以上の諸学級を『学校基本調査報告書』の学級数から減ずれば、中学校内特殊学級数が判明することになる。皆成分校を除いては、表1のように学級数が確定できた。しかし、皆成分校の学級数は資料F『皆成学園20年史』(1969)と資料G『鳥取県特殊教育の歩み』(1978)で相違しており、確定できなかった。従って、表1のJ欄は、A欄からF欄及びG欄を減じた中学校内特殊学級数の推計値である。

特殊学級数の統計の不一致は、全日本特殊教育連盟編『日本の精神薄弱教育一戦後30年一第6巻地域史III・西日本』(1979)や鳥取県特殊教育研究会編『25周年記念号 きぼう 第25号』(1987)においても認められた。国一公一私立、施設内一中学校内特殊学級、障害種別、行政認可一無認可などの別を明確にした上で、更に中学校内特殊学級の確定作業を進める必要に迫られた。

## 2. 『教育行政便覧』に基づく設置状況

次に、文部省『学校基本調査報告書』の地方版である鳥取県教育委員会『教育行政便覧』に基づいて、鳥取県下の公立の中学校内特殊学級に限定して、行政認可の学級数を把握した。『教育行政便覧』は毎年度5月1日現在の学校基本調査結果をまとめた資料で、1958年度版から発行されている。

『教育行政便覧』に基づく行政認可の学級数を表1のI欄内のH欄に掲げた。これが、行政に認可された形での鳥取県における公立の中学校内特殊学級の設置状況(設置学校数・学級数)の確定数である。

なお、『教育行政便覧』で確定したH欄の学級数は、『学校基本調査報告書』の精神薄弱特殊学級数(D欄)から『教育行政便覧』で確定した皆成分校の学級数(E欄の中のH欄)を減じた数字(1958～71年度)とも一致した。

表1. 鳥取県における中学校の特殊学級の設置状況

(単位:級) (1988. 8. 渡部)

項目 年度	文部省調査(A)	国立(B)	公立(C)	*肢体 *自由	*身 *体 *虚 *弱	情 緒 障 害	難 聴	精 神 薄 弱(D)	**** 皆成分校 (E)			公立中学校内 特殊学級 (I)		備 考  ( )内は開設した月	
									(F)	(G)	(H)	(J)	(H) 学級数		設置 校数
'55	?														** (9)米子市立第二中学校整肢学園分校開設
'56	?			?					(1)	(1)					**** (10又は11)倉吉市立西中学校皆成分校開設
'57	4		4	2				2	2	2		-			
'58	4		4	2				2	2	2		-	-	-	*** (10)鳥取市立湖東中学校白兔分校開設 59年(1)米子市立第二中学校皆成分校開設
'59	7		7	2	2			3	3	3		-	-	-	
'60	9		9	2	3			4	3	3	4	①	-	-	
'61	8		8	2	2			4	4	4	4	-	-	-	*** (4)鳥取市立養護学校白兔学園(病弱)開設
'62	8		8	2				6	7	7	5	①	1	1校	*** (4)米子市立養護学校皆浜学園(病弱)開設
'63	13		13					13	6	6	6	7	7	7	** (4)肢体不自由養護学校・県立米子皆生学園開設
'64	22	1	22					22	7	7	7	15	15	14	* (4)鳥大附属中学校に特殊学級開設
'65	27	2	27					27	6	6	6	21	21	18	
'66	32	3	32					32	4	6	4	②③	28	24	
'67	41	3	41					41	5	6	6	④⑤	35	26	
'68	49	3	46					46	5	6	4	⑥⑦	42	33	
'69	59	3	56					56	5	5	5	51	51	40	
'70	62	3	59					59	5	5	5	54	54	42	
'71	64	3	61					61	5	5	5	56	56	43	
'72	60	3	57					57				57	44		**** (4)倉吉市立養護学校(精神薄弱)開設
'73	55	3	55					55				55	44		
'74	52	3	52					52				52	43		
'75	50	3	50					50				50	43		
'76	48	3	48					48				48	43		
'77	49	3	49					49				49	44		
'78	50		50				1	49				50	44		* (4)鳥取大学教育学部附属養護学校開設
'79	52		52				1	51				52	46		
'80	53		53				1	52				53	48		
'81	51		51				2	49				51	47		
'82	52		52				3	49				52	46		
'83	52		52				3	49				52	45		
'84	53		53			1	3	49				53	44		
'85	54		54			1	3	50				54	45		
'86	48		48			1	3	44				48	41		
'87	45		45			1	3	41				45	41		
'88												44	41		

(A)は、文部省「学校基本調査報告書」(各年度)に基づく鳥取県の中学校の特殊学級数(単位=学級)。□年度は国立を含む数。  
 (B)は、鳥取大学「鳥取大学30年史」(1983)に基づく、鳥取大学教育学部附属中学校特殊学級数。  
 (C)は、(A)の□年度について、(B)を引いた数で、鳥取県の公立中学校の特殊学級数。なお、障害種別に内訳を示した。また、\*\*\*~\*\*\*\*は、当初各々施設内分校として発足し後に養護学校として独立した。  
 (D)は(D)を含む数。(I)は施設内分校(\*\*\*~\*\*\*\*)の学級を除いた「中学校内特殊学級」の数。  
 (F)は、「県立皆成分校20年史」(1969) P.84の資料に基づく数字。  
 (G)は、鳥取県特殊教育百年事業実行委員会「鳥取県特殊教育の歩み」(1978) P.82の資料に基づく数字。  
 (H)は、鳥取県教育委員会「教育行政便覧」(1958年度~)に基づく数(各年度5月1日付)。  
 (J)は、(D)-(F)又は(D)-(G)により求めた数。○印は(I)と相違する年度。

表 2. 鳥取県における中学校内特殊学級の設置推移 (設置校率)

(1988. 8. 渡部)

区分	年度	'61	'62	'63	'64	'65	'66	'67	'68	'69	'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88		
		鳥取市	学校数(校) 設置校(校) (設置率)(%)	12<1> — (—)	12 1 (8)	11 2 (18)	10 4 (40)	10 5 (50)	10 7 (70)	9 ⑥ (67)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 8 (89)	9 8 (89)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 8 (89)	9 8 (89)	9 8 (89)	9 8 (89)	9 8 (89)	9 7 (78)	10 8 (80)	10 8 (80)	10 8 (80)	10 8 (80)	
岩美郡	学校数 設置校 (設置率)	5 — (—)	5 — (—)	5 — (—)	5 1 (20)	5 1 (20)	5 1 (20)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 3 (100)	3 3 (100)	3 3 (100)	3 3 (100)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)
八頭郡	学校数 設置校 (設置率)	9 — (—)	8 — (—)	8 — (—)	8 — (—)	8 1 (13)	8 2 (25)	8 2 (25)	8 3 (38)	8 4 (50)	8 5 (63)	8 6 (75)	8 6 (75)	8 7 (88)	8 7 (88)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 7 (88)	8 8 (100)	8 8 (100)	8 7 (88)	8 8 (88)	8 7 (88)	8 8 (88)
気高郡	学校数 設置校 (設置率)	4 — (—)	4 — (—)	4 — (—)	4 — (—)	4 — (—)	3 — (—)	3 — (—)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 1 (33)	3 1 (33)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 3 (100)	3 3 (100)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	3 2 (67)	
倉吉市	学校数 設置校 (設置率)	4<1> — (—)	4<1> — (—)	4<1> — (—)	4<1> — (—)	4<1> 1 (25)	4<1> 2 (50)	4<1> 2 (50)	4<1> 3 (75)	4<1> 3 (75)	4<1> 3 (75)	4<1> 3 (75)	4 3 (75)	4 3 (75)	4 3 (75)	4 3 (75)	4 3 (75)	4 3 (75)	4 3 (75)	4 3 (75)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)	4 4 (100)
東伯郡	学校数 設置校 (設置率)	12 — (—)	11 — (—)	11 — (—)	9 1 (11)	9 2 (22)	9 3 (33)	9 4 (44)	9 4 (44)	9 5 (56)	9 5 (56)	8 ⑤ (71)	8 ⑤ (71)	8 5 (71)	8 5 (71)	9 5 (71)	9 5 (71)	9 5 (71)	9 6 (86)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 6 (86)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 7 (100)	9 7 (100)
米子市	学校数 設置校 (設置率)	9<2> — (—)	9<1> — (—)	9 5 (56)	9 5 (56)	9 5 (56)	9 5 (56)	9 6 (67)	9 6 (67)	9 6 (67)	8 7 (88)	8 7 (88)	8 7 (88)	8 7 (88)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 7 (78)	9 6 (67)	9 5 (56)	9 5 (56)	9 5 (56)	9 5 (56)	9 5 (56)	10 5 (50)	10 5 (50)	10 5 (50)	
境港市	学校数 設置校 (設置率)	2 — (—)	2 — (—)	2 — (—)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 2 (100)	2 3 (67)	2 2 (67)	2 2 (67)	2 2 (67)
西伯郡	学校数 設置校 (設置率)	8 — (—)	8 — (—)	8 — (—)	8 1 (13)	8 1 (13)	8 2 (25)	8 2 (25)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 6 (86)	7 6 (86)	7 6 (86)	7 6 (86)	7 6 (86)	7 6 (86)	7 6 (86)	7 6 (86)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 5 (71)	7 4 (57)	7 4 (57)	7 4 (57)	7 4 (57)
日野郡	学校数 設置校 (設置率)	13 — (—)	12 — (—)	11 — (—)	11 — (—)	11 — (—)	11 — (—)	11 2 (18)	11 4 (36)	11 4 (36)	9 4 (44)	7 4 (57)	7 3 (43)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 2 (40)	5 1 (20)	5 1 (20)	5 1 (20)	5 1 (20)	5 1 (20)	5 1 (20)	5 1 (20)	4 — (—)	4 — (—)	4 — (—)	4 — (—)	4 — (—)	
計	学校数 設置校 (設置率)	78(4) — (—)	75(2) 1 (1)	73(1) 7 (10)	70(1) 14 (20)	70(1) 18 (26)	69(1) 24 (35)	68(1) 33 (38)	68(1) 33 (49)	67(1) 40 (60)	64(1) 42 (66)	62(1) 43 (69)	60 44 (73)	60 44 (73)	59 43 (73)	59 43 (73)	59 44 (75)	59 44 (75)	59 44 (75)	57 46 (81)	57 46 (81)	57 46 (81)	57 46 (81)	57 46 (81)	57 45 (79)	57 45 (79)	56 44 (78)	58 45 (78)	59 41 (69)	59 41 (69)	59 41 (69)
全国平均設置率(%)																	46.4	47.3	46.5	47.9	48.3	48.2	48.2	48.0	48.0	48.0	47.7	47.4			

注1) 鳥取県教育委員会「教育行政便覧」(各年度)より作成。

2) 「学校数」には分校も含めている。但し、&lt;&gt;内に外放で示した施設内分校は除いた。また、校舎(分教室)はカウントしていない。

3) 「設置校」の内、○印は同一校の2校舎に設置されていた中学校1校を含むことを示した。

4) 「学校数」及び「設置校」において、組合立の邑法第一中学校を岩美郡でなく鳥取市に、貧乏屋中学校を西伯郡でなく米子市に含めた。従って、年度によって「教育行政便覧」の区分とは異っている場合がある。

5) 「全国平均設置率」は、文部省「学校基本調査報告書」に基づく数字で、国公私立を含めた平均値である。1975年度以前については率の記載がない。

## II. 中学校内特殊学級の設置経緯

### 1. 中学校内特殊学級誕生の経緯

戦後に鳥取県下で最初に行政認可された中学校内特殊学級は、1962年度、鳥取市立西中学校の特殊学級である。先に挙げた資料の『鳥取県特殊教育の歩み』及び『日本の精神薄弱教育 第6巻』においては、共に、小学校特殊学級の歩みは詳述されているものの、鳥取西中学校での特殊学級誕生の経緯は略記されている。他の史料で、この間の経緯の概略を記しておこう。

#### (1) 『鳥取県教育要覧 昭和37年度版』(1963)<sup>10)</sup>

「特殊教育」の項において、鳥取市立西中学校、担任・大西美智子、1学級16人の記載がある。

#### (2) 『鳥取市誌 (I) 昭和33年～昭和45年まで』(1972)<sup>11)</sup>

「日進校県下に初の特殊学級」の項に続く「学級数の増加」の項において以下の記述がある。

「37年度には久松小学校、西中学校にも設置され、……(中略)。／これよりさき、西中学校は29年6月に不就学者と、長期欠席の生徒20余人を対象とする補導学級を、西品治公民館に開設した。講師徳田のぶの4年間にわたる努力で、年を逐って学級生が少なくなったので、33年の春ここを閉じ、校内に成長教室を設けた。この学力不振者を対象とする学級が37年度から衣がえして、精薄者の特殊学級となったのである。」

#### (3) 『鳥取市教育百年史』(1974)<sup>12)</sup>

「特殊学級の創設と発展」の項に続いて、「西中学校の特殊教育」の項が設けられている。

「中学校の特殊学級は西中学校ではじめられた。長期欠席生徒の就学対策として、昭和29年に発足したが、当時、西中学校は、45名の長欠生徒をかかえていた。そのため、校区の公民館に教員が出むいて、これらの生徒の指導にあたった。これは『西中分教室』と呼ばれた。／昭和33年、分教室は廃止され、本校内に成長教室(特殊学級)がおかれた。昭和33年、特殊学級として補助対象となり、39年度からは、2学級となった。」

なお、掲載表中において設置年度は「29.6.8」と記載されている。

#### (4) 『きぼう 第25号』(1987)<sup>13)</sup>

鳥取県下の特殊学級担任などで構成する鳥取県特殊教育研究会の25周年記念誌に、西中学校の成長教室を担当した大西美智子教諭が「鳥取西中『成長教習』の思い出」と題する一文を寄せている。

「昭和36年4月、私は鳥取西中の『成長教室』を担当するため赴任した。(中略)／その〔徳田のぶ一引用者注〕後任として私が36年に担当したというわけであった。私の受け持った36年には、準備室のような細長い小部屋をこの教室にあてていた。そして2年生のみを対象として、基礎学力の遅れている生徒を、国語と数学の時間だけ数名ずつ交代で教室へ来させてその教科の基礎を学習させていた。合計10数名であったように記憶している。現在のいわゆる促進学級である。プリントで練習問題をさせたり、国語の教科書を読む練習をさせたり、漢字書取をさせたり……というような内容であったと思う。教職経験の少なかった私にとって、同じ教育をしている仲間もなく、ともすれば孤立しがちな暗中模索な1年であった。／翌37年には、正式の特殊学級として、中学校では最初の学級が設置され、山田敏美先生が赴任して来られ、今日の特殊学級の基礎が確立されたのである。」

以上の史・資料から、鳥取西中学校での特殊学級誕生の経緯が概観できよう。整理すると、1954年に不就学・長欠生徒を対象にした「西中分教室」が西品治公民館に開設され、1958年には中学校内に場所を移し、教科学習の促進をめざした「成長教室」に改め、1962年度から行政認可の精神薄

弱特殊学級として発足したという経緯である。

## 2. 中学校内特殊学級増設の経緯

それでは、何故、鳥取県において1962年度に最初の中学校内特殊学級が行政認可され、その後、表1及び2に見るように速いペースで増設されていったのであろうか。

『鳥取市誌(Ⅰ)』は、この間の事情を、「この普及の原動力となったのは、学級の成果が広く世に認められ、県、市の当局が積極的な増設計画を進めたことにもよるが、反面児童生徒の激減に伴う教員確保の方策として、設置奨励が行われたことも見のがせない。」<sup>14)</sup>と指摘している。また、山里一夫氏は「特殊学級の計画設置<sup>15)</sup>と増設の経緯を特徴づけている。これらは今後の検討に値する指摘であるが、ここではこれ以上立ち入らない。ただ、鳥取県における特殊学級の計画設置の背景に、1959年の中央教育審議会答申「特殊教育の充実振興について」を受けて進められた1961年度を初年度とする精神薄弱特殊学級の設置5か年計画という国レベルの施策の推進があった事実を挙げておきたい。この5か年計画は、1965年度までに市及び人口3万以上の町村に設置基準を満たすように全国で3,916学級(小・中学校合計)の特殊学級の増設計画を推進しようとしたもので、1964年度からは人口3万未満の町村を含め、毎年度約1,000学級ずつの増設計画が推進された。<sup>16)</sup>

鳥取県では、1962年度に最初の学級が開設された後、国の5か年計画の目処とされた1965年度には70校中18校21学級(設置校率26%)に設置が進み、1968年度には県下の4市6郡の全てに設置を果たし、1972年度には最高の57学級にまで達している。

その後、設置校率は着実に上昇し、1980年度には最高の84%に達した。以後、設置校率は減少傾向にあるが、全国平均値よりも高い率を依然として維持している。設置学級数は、1972年度以降減少した後に再増設されたが、1986年度より再び減少傾向に転じている。なお、1984年度より日野郡の中学校には特殊学級は設置されていない。

中学校の特殊学級は、全国的にみても精神薄弱学級が多いが鳥取県の場合は特にその傾向が強い。しかし、1978年度から難聴学級が、1984年度から情緒障害学級が鳥取県の中学校にも開設されている。その設置状況は、表3のとおりである。難聴学級は、1981年度に1校、1982年度に1校増設され、県の東中西部に各1校計3学級を擁するようになっていく。

## III. 『鳥取県教育関係職員録』の記載の確認

### 1. 特殊学級の記載

『鳥取県教育関係職員録』の記載を、『教育行政便覧』に即して各学校毎に確認したのが表4である。また、その結果を一覧にしたものが表5である。

表3. 鳥取県における中学校内特殊学級の設置状況(情緒障害・難聴学級)

年度	区分	難 聴			
		鳥取市立 西 中	鳥取市立 北 中	倉吉市立 東 中	米子市立 湊山中
'78		—	1学級(3人)	—	—
'79		—	1(4)	—	—
'80		—	1(2)	—	—
'81		—	1(2)	1(3)	—
'82		—	1(3)	1(2)	1(3)
'83		—	1(2)	1(3)	1(2)
'84		1(2)	1(3)	1(1)	1(3)
'85		1(2)	1(2)	1(3)	1(3)
'86		1(2)	1(2)	1(2)	1(4)
'87					
'88					

注1) 鳥取県教育委員会「教育要覧」(各年度)より作成。  
1987年度版以降は未発行。( )内は在籍生徒数。

表4. 鳥取県における中学校内特殊学級の学校別設置状況

(『鳥取県教育関係職員録』記載事項の確認)

(1988. 8. 渡部)

年度	鳥 取 市														岩 美 郡				
	鳥取東	鳥取西	倉田		鳥取南		鳥取北		江 山	高 草	湖 東	湖 南	邑法第一 桜ヶ丘	大 成 国 府	岩 美 岩 美	二 上 岩 美	蒲 生	福 部	
			倉田校舎	倉田南校舎	鳥取南校舎	鳥取北	中ノ郷												
'62		1(7) ○(-)																	
'63		1(14) ○(-)										1(12) ○(-)							
'64		2(16) ○(-)	1(10) ○(1)								1(15) ○(1)				1(10) ○(-)				
'65		2(22) ○(-)	1(6) ○(1)	1(5) ○(-)							1(15) ○(-)				1(7) ○(-)				
'66	1(13) ○(-)	2(21) ○(-)	1(7) ○(1)	1(6) ○(-)						1(6) ○(-)	1(11) ○(-)			2(17) ○(3)	1(7) ○(-)				
'67	1(10) ○(-)	2(20) ○(-)	1(5) ○(1)	1(6) ○(-)						1(6) ○(1)	1(5) ○(-)			2(16) ○(3)	1(6) ○(-)			1(6) ○(-)	
'68	1(10) ○(-)	2(18) ○(3)	2(18) ○(-)					1(8) ○(1)	1(6) ○(1)	1(8) ○(-)			2(19) ○(3)		1(8) ○(1)			1(7) ○(-)	
'69	1(7) ○(-)	2(16) ○(2)	3(27) ○(-)					1(10) ○(1)	1(7) ○(1)	1(7) ○(-)			2(14) ○(-)		1(7) ○(1)			1(7) ○(-)	
'70	1(5) ○(2)	2(15) ○(4)	2(15) ○(-)					1(7) ○(1)	1(8) ○(1)	1(10) ○(-)			2(14) ○(-)		1(4) ○(1)			1(5) ○(-)	
'71	1(7) ○(1)	2(15) ○(3)	2(19) ○(3)					1(7) ○(1)	1(8) ○(1)	1(8) ○(1)			2(14) ○(3)		1(3) ○(1)			1(5) ○(-)	
'72	1(6) ○(1)	2(17) ○(4)	2(18) ○(3)			1(7) ○(1)		1(8) ○(1)	1(8) ○(1)	1(7) ○(1)			2(14) ○(3)		1(3) ○(1)			1(6) ○(-)	
'73	1(4) ○(1)	2(16) ○(3)	2(16) ○(3)			1(5) ○(1)		1(8) ○(1)	1(6) ○(1)	1(6) ○(1)			2(14) ○(3)		1(4) ○(1)			1(6) ○(1)	
'74	1(6) ○(1)	2(13) ○(3)	2(18) ○(3)					1(6) ○(1)	1(5) ○(1)	1(5) ○(1)			2(14) ○(3)		1(6) ○(1)			1(6) ○(1)	
'75	1(5) ○(1)	2(14) ○(3)	2(14) ○(3)					1(3) ○(1)	1(6) ○(1)	1(6) ○(1)			2(14) ○(3)		1(7) ○(1)			1(6) ○(1)	
'76	1(6) ○(1)	2(13) ○(3)	2(16) ○(3)					1(5) ○(1)	1(4) ○(1)	1(3) ○(1)			1(5) ○(1)		1(2) ○(1)			1(6) ○(1)	
'77	1(8) ○(1)	2(14) ○(3)	2(16) ○(3)					1(4) ○(1)	1(4) ○(1)	1(5) ○(1)			1(4) ○(1)		1(2) ○(1)			1(3) ○(1)	
'78	1(7) ○(1)	2(14) ○(3)	2(13) ○(3)			2(6) ○(2)		1(4) ○(1)	1(3) ○(1)	1(5) ○(1)			1(6) ○(1)		1(3) ○(1)			1(2) ○(1)	
'79	1(3) ○(1)	2(19) ○(3)	2(14) ○(3)			2(9) ○(2)			1(5) ○(1)	1(4) ○(1)	1(2) ○(1)		1(4) ○(1)			1(2) ○(1)		1(2) ○(1)	
'80	1(3) ○(1)	2(18) ○(3)	2(14) ○(3)			2(6) ○(2)			1(7) ○(1)	1(3) ○(1)	1(3) ○(1)	1(5) ○(1)		1(2) ○(1)		1(4) ○(1)		1(4) ○(1)	
'81	1(6) ○(1)	2(19) ○(3)	1(10) ○(1)			2(6) ○(2)			1(3) ○(1)	1(3) ○(1)	1(3) ○(1)	1(8) ○(1)		1(2) ○(1)		1(3) ○(1)		1(3) ○(1)	
'82	1(9) ○(1)	2(12) ○(3)	1(7) ○(1)			2(9) ○(2)			1(4) ○(1)	1(3) ○(1)	1(3) ○(1)	1(9) ○(1)		1(2) ○(1)		1(5) ○(1)		1(3) ○(1)	
'83	2(11) ○(3)	2(13) ○(3)	1(5) ○(1)			2(10) ○(2)			1(3) ○(1)	1(3) ○(1)	1(3) ○(1)	1(6) ○(1)		1(2) ○(1)		1(4) ○(1)		1(2) ○(1)	
'84	2(12) ○(3)	3(14) ○(3)	1(4) ○(1)			2(11) ○(2)			1(4) ○(1)		1(3) ○(1)	1(4) ○(1)		1(4) ○(1)		1(5) ○(1)		1(1) ○(1)	
'85	2(12) ○(3)	3(15) ○(4)	1(4) ○(1)			2(7) ○(2)	1(3) ○(1)		1(4) ○(1)		1(4) ○(1)	1(3) ○(1)		1(5) ○(1)		1(6) ○(1)		1(1) ○(1)	
'86	2(13) ○(3)	3(13) ○(4)	1(4) ○(1)			2(5) ○(2)	1(2) ○(1)		1(4) ○(1)		1(4) ○(1)	1(3) ○(1)		1(4) ○(1)		1(6) ○(1)			
'87	1(9) ○(1)	2(9) ○(2)	1(5) ○(1)			2(7) ○(2)	1(2) ○(1)		1(4) ○(1)		1(4) ○(1)	1(3) ○(1)		1(2) ○(1)		1(6) ○(1)			
'88	1(8) ○(1)	2(10) ○(3)	1(5) ○(1)			2(6) ○(2)	1(2) ○(1)		1(5) ○(1)		1(3) ○(1)	1(3) ○(1)		1(2) ○(1)		1(5) ○(1)			

注1) 鳥取県教育委員会『教育行政便覧』(各年度)、同『(鳥取県)教育関係職員録』(各年度)より作成。  
各中学校の沿革(校名の変更等)は、鳥取県中学校長会『鳥取県中学校創立30周年記念誌』(1977)を参照した。  
2) 施設内分校を除く公立中学校内特殊学級についての一覧である。「学校名」は特殊学級開設以降の年度の校名を示した。  
点線は「校舎」の区分を表わしている。  
3) 「学校名」の欄において、中学校の統廃合・分離独立・新設などの経緯も示した。但し、「学校名」欄に明示したのは特殊学級開設年度以降の変更についてである。1962年度から開設年度までは学校名を示さず表中を区分した。  
4) 数字は、上段：『教育行政便覧』に基づく学級数と(在籍生徒人数)〔従って、各年度5月1日現在〕、下段：『(鳥取県)教育関係職員録』に基づく学級数〔但し、『教育行政便覧』の学級数と一致した場合は省略し、異なる場合のみ○内に示した〕と(記載担任数)である。

(表4. つづき)

郡市	八 頭 郡							気 高 郡			倉 吉 市				東			
	中 央	船 岡	河 原	八 東	若 桜	用 瀬	佐 治	智 頭	気 高	鹿 野	青 谷	倉 吉 東	倉 吉 西	久 米	河 北	羽 合	泊 湖	北 条
学校名																北 条 北 条 北 条	北 条 北 条 北 条	北 条 北 条 北 条
年度																		
'62																		
'63																		
'64																		
'65								1(7) (1)					1(10) ⊖(1)					
'66			1(8) (3)					1(7) (1)					2(17) (2)	1(6) ⊖(1)				
'67			1(5) (4)					2(19) (4)					2(17) (2)	2(16) ⊖(1)				1(7) ⊖(1)
'68		1(14) (-)	1(8) (2)					2(18) (3)	1(8) (-)	1(9) (1)	1(8) (1)	2(17) (2)	2(19) (-)					1(9) ⊖(1)
'69	1(7) (-)	1(10) (1)	1(7) (1)					2(15) (2)	1(6) (1)	2(21) (3)	1(12) (1)	2(16) (-)	2(19) (-)					1(10) (4)
'70	1(7) (-)	1(13) (1)	1(13) (1)		1(12) (1)			2(14) (2)	1(6) (1)	2(24) (-)	2(16) (2)	2(16) (3)	2(18) (-)		1(7) (1)			1(9) (-)
'71	1(7) (-)	1(7) (1)	1(8) (1)	1(9) (-)	1(10) (-)			2(14) (2)	1(5) (1)	2(14) (2)	2(16) (2)	2(16) (3)	2(19) (3)		1(7) (1)			1(7) (1)
'72	1(9) (-)	1(6) (1)	1(8) (1)	1(9) (1)	1(10) (1)			2(14) (2)	1(3) (1)	2(14) (2)	2(19) (3)	2(16) (3)	2(19) (3)					2(15) (2)
'73	1(13) (-)	1(5) (1)	1(10) (1)	1(10) (-)	1(12) (1)	1(10) (1)		2(15) (3)	1(9) (1)	2(14) (2)	2(17) (3)	2(14) (3)	2(14) (3)					1(9) (1)
'74	1(12) (1)	1(10) (1)	1(9) (1)	1(10) (1)	1(11) (1)	1(10) (1)	1(12) (1)	2(13) (3)	1(6) (1)	1(5) (1)	2(13) (3)	2(13) (3)	1(9) (1)					1(6) (1)
'75	1(12) (1)	1(12) (1)	1(9) (1)	1(9) (1)	1(9) (1)	1(7) (1)	1(11) (1)	2(13) (3)	1(3) (1)	1(7) (1)	2(13) (3)	2(13) (3)	1(6) (1)					1(6) (2)
'76	1(10) (1)	1(12) (1)	1(8) (1)	1(6) (1)	1(10) (1)	1(9) (1)	1(6) (1)	2(14) (3)	1(4) (1)	1(5) (1)	1(5) (1)	2(19) (3)	1(4) (1)					1(6) (1)
'77	1(10) (1)	1(12) (1)	1(7) (1)	1(10) (1)	1(13) (1)	1(5) (1)	1(7) (1)	2(15) (3)	1(4) (1)	1(6) (1)	1(9) (1)	2(18) (3)	1(2) (1)					1(5) (1)
'78	1(8) (1)	1(8) (1)	1(1) (1)	1(10) (1)	1(12) (1)	1(9) (1)	1(9) (1)	2(13) (3)		1(3) (2)	1(5) (1)	2(15) (3)	1(5) (1)					1(5) (1)
'79	1(6) (1)	1(2) (1)	1(1) (1)	1(6) (1)	1(7) (1)	1(6) (1)	1(3) (1)	2(13) (2)		1(3) (1)	1(4) (1)	2(13) (3)	1(6) (1)	1(3) (1)				1(6) (1)
'80	1(6) (1)	1(2) (1)	1(1) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)	1(7) (1)	1(2) (1)	2(13) (3)	1(4) (1)	1(2) (1)	1(3) (1)	2(15) (3)	1(4) (1)	1(4) (1)				1(5) (1)
'81	1(3) (1)	1(2) (1)	1(6) (1)	1(8) (1)	1(3) (1)	1(8) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)		1(6) (1)	1(2) (1)	2(8) (2)	2(15) (3)	1(4) (1)	1(4) (1)			1(2) (1)
'82	1(4) (1)	1(6) (1)	1(5) (1)	1(6) (1)	1(3) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)		1(3) (1)	1(2) (1)	2(6) (2)	2(13) (3)	1(6) (1)	1(5) (1)			1(2) (1)
'83	1(3) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)		1(3) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)	1(4) (1)	1(4) (1)	1(4) (1)	2(7) (2)	2(12) (3)	1(5) (1)	1(6) (1)			
'84	1(2) (1)	1(6) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)	1(5) (1)	1(4) (1)	2(5) (2)	2(12) (3)	1(3) (1)	1(8) (1)			1(5) (1)
'85	1(2) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)	2(7) (2)	2(12) (3)	1(5) (1)	1(8) (1)			1(6) (1)
'86	1(3) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)	1(5) (1)		1(5) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)		1(4) (1)	1(3) (1)	2(5) (3)	1(5) (1)	1(5) (1)	1(7) (1)			1(7) (1)
'87	1(3) (1)	1(5) (1)	1(4) (1)	1(4) (1)		1(5) (1)	1(5) (1)	1(4) (1)		1(6) (1)	1(3) (1)	2(5) (2)	1(6) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)			1(7) (1)
'88	1(4) (1)	1(6) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)		1(2) (1)	1(3) (1)	1(4) (1)		1(3) (1)	1(3) (1)	1(5) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)			1(8) (1)



(表4. つづき)

伯 郡				米 子 市										郡市						
東 郷	三 朝	鴨 川	大 栄	東 伯	伯 聖	赤 碓	米 子 第 一	米 子 第 二		米 子 第 三	米 子 第 四		美 保		弓 ケ 浜	尚 徳	箕 蚊 屋	箕 蚊 屋	学 校 名	年 度
				東 伯	東 校 伯 舎			聖 校 郷 舎	* 東 山		福 原	福 米		湊 山			後 藤 ケ 丘	加 茂		
																				'62
							1 (0) (1)	1 (9) (1)	1 (9) (1)				1 (10) (1)	1 (5) (1)						'63
			1 (10) (1)				1 (9) (1)	1 (8) (1)	1 (5) (1)				1 (6) (1)	1 (5) (1)						'64
			2 (7) (5)			1 (8) (1)	1 (9) (1)	1 (3) (1)	1 (5) (1)				1 (5) (1)	1 (3) (1)						'65
1 (7) (1)			2 (7) (7)			1 (10) (1)	1 (11) (1)	1 (10) (1)	1 (2) (2)				1 (8) (1)	1 (3) (1)						'66
1 (9) (7)			2 (8) (6)			1 (9) (1)	2 (16) (3)	1 (8) (1)	1 (12) (1)			1 (6) (1)	1 (10) (1)	1 (7) (1)						'67
1 (7) (1)			2 (16) (2)			1 (8) (1)	2 (16) (3)	1 (8) (1)	1 (7) (1)			1 (9) (1)	1 (11) (1)	1 (10) (1)						'68
1 (6) (1)			2 (14) (1)			1 (13) (1)	1 (7) (1)	2 (15) (3)	1 (9) (1)			1 (5) (1)	1 (13) (1)	1 (5) (1)	1 (8) (1)					'69
1 (4) (1)			2 (15) (1)			1 (11) (1)	1 (8) (1)	1 (8) (1)	1 (5) (1)			2 (7) (1)	1 (5) (1)	1 (5) (1)					1 (5) (1)	'70
1 (5) (1)			2 (16) (1)			2 (7) (2)	1 (10) (1)	1 (8) (1)	1 (5) (1)			2 (18) (3)	1 (6) (1)	1 (5) (1)					1 (8) (1)	'71
1 (5) (1)			2 (15) (3)			2 (14) (3)	1 (6) (1)	1 (10) (1)	1 (7) (1)			1 (4) (1)	2 (14) (3)	1 (3) (1)	1 (7) (1)				1 (10) (1)	'72
1 (6) (1)			1 (7) (1)			2 (15) (3)	1 (4) (1)	1 (5) (1)	1 (5) (1)			1 (4) (1)	2 (15) (2)	1 (3) (1)	1 (5) (1)				1 (7) (1)	'73
1 (4) (1)			1 (4) (1)			2 (13) (3)	1 (3) (1)	1 (8) (1)	1 (5) (1)			1 (4) (1)	2 (14) (2)	1 (3) (1)	1 (5) (1)				1 (6) (1)	'74
1 (6) (1)			1 (7) (1)			2 (13) (3)	1 (3) (1)	1 (4) (1)	1 (6) (1)			1 (3) (1)	1 (7) (1)	1 (3) (1)	1 (5) (1)				1 (6) (1)	'75
1 (2) (1)			1 (6) (1)			2 (13) (3)	1 (3) (1)	1 (2) (1)	1 (5) (1)			1 (3) (1)	1 (8) (1)	1 (3) (1)	1 (2) (1)				1 (6) (1)	'76
1 (4) (1)			1 (7) (1)			2 (14) (3)	1 (4) (1)	1 (2) (1)	1 (5) (1)			1 (3) (1)	1 (11) (1)	1 (2) (1)	1 (2) (1)				1 (7) (1)	'77
1 (3) (1)			1 (5) (1)			1 (3) (1)	2 (13) (3)	1 (4) (1)	1 (5) (1)			1 (3) (1)	1 (9) (1)	1 (2) (1)	1 (3) (1)				1 (6) (1)	'78
1 (2) (1)			1 (3) (1)			1 (9) (1)	1 (6) (1)	2 (13) (3)	1 (6) (1)			*1 (3) (1)	1 (5) (1)	1 (4) (1)	1 (9) (1)				1 (6) (1)	'79
1 (6) (1)			1 (3) (1)			1 (6) (1)	1 (4) (1)	1 (9) (1)	1 (7) (1)			1 (2) (1)	1 (5) (1)	1 (3) (1)	1 (5) (1)				1 (5) (1)	'80
1 (5) (1)			1 (4) (1)			1 (4) (1)	1 (5) (1)	1 (5) (1)				1 (4) (1)	1 (4) (1)	1 (7) (1)	1 (2) (1)				1 (4) (1)	'81
1 (3) (1)			1 (7) (1)			1 (5) (1)	1 (7) (1)	1 (4) (1)	1 (3) (1)			1 (6) (1)	2 (7) (2)	2 (14) (2)					1 (4) (1)	'82
1 (3) (1)			1 (5) (1)			1 (7) (1)	1 (3) (1)	1 (3) (1)				1 (3) (1)	2 (8) (2)	2 (16) (2)					1 (4) (1)	'83
1 (3) (1)			1 (5) (1)			1 (4) (1)	1 (5) (1)	1 (4) (1)	1 (4) (1)			1 (4) (1)	2 (7) (2)	3 (2) (3)					1 (3) (1)	'84
1 (3) (1)			1 (3) (1)			1 (4) (1)	1 (4) (1)	1 (6) (1)	1 (1) (1)			1 (3) (1)	2 (7) (2)	3 (2) (3)					1 (4) (1)	'85
1 (3) (1)			1 (4) (1)			1 (4) (1)	1 (3) (1)	1 (4) (1)	1 (1) (1)			1 (4) (1)	2 (11) (2)	2 (17) (2)					1 (4) (1)	'86
1 (3) (1)			1 (4) (1)			1 (3) (1)	1 (4) (1)	1 (3) (1)	1 (1) (1)			**1 (4) (1)	2 (12) (2)	1 (5) (1)	1 (3) (1)				1 (2) (1)	'87
1 (4) (2)			1 (4) (1)			1 (2) (1)	1 (1) (1)	1 (7) (1)	1 (1) (1)			1 (5) (1)	2 (9) (2)	1 (4) (1)	1 (7) (1)				1 (4) (1)	'88

\*及び\*\*は、校名変更の年度を示す。

(表4. つづき)

境 第 一	境港市		西伯郡					日野郡					郡市 学校名 年度								
	境 第 二	境 第 三	法 勝 寺	南 部	岸 本	淀 江	大山		名 和	中 山	日 野 上	山 上		阿 毘 縁	大 宮	福 栄	多 里	石 見	日 野	江 府	溝 口
							大 山	山 和													
																					'62
																					'63
	1(8) (1)	1(7) (1)	1(8) ○(-)																		'64
	1(6) (1)	1(9) (1)	1(6) (-)																		'65
	1(8) (1)	1(12) (1)	1(7) (1)				1(6) (-)														'66
	1(6) (-)	2(10) (2)	1(7) (1)				1(6) (-)														'67
	1(5) (1)	2(10) (2)	1(5) (1)				1(6) (-)								1(6) (-)			1(11) (-)			'68
	1(5) (1)	2(15) (-)	1(6) (1)				1(6) (1)	1(7) (-)	1(6) (1)	1(10) (1)		1(6) (-)			1(6) (1)			1(12) (1)	1(10) (-)		'69
	1(4) (1)	2(10) (-)	1(6) (1)				1(6) (-)	1(4) (1)	1(8) (1)	1(8) (1)		1(7) (-)			1(6) (1)			1(5) (-)	1(9) (-)		'70
	1(4) (1)	2(16) (-)	1(6) (1)				1(6) (-)	1(5) (1)	1(4) (1)	1(9) (1)		1(5) (1)			1(5) (1)			1(6) (1)	1(5) (1)		'71
	1(6) (1)	2(15) (2)	1(4) (1)				1(3) (-)	1(5) (1)	1(4) (1)	1(5) (1)		1(6) (1)			1(5) (1)			1(9) (1)	1(5) (1)		'72
	1(5) (1)	2(14) (2)	1(4) (1)				1(2) (4)	1(3) (1)	1(4) (1)	1(4) (1)					1(6) (1)			1(6) (1)	1(11) (1)		'73
	1(8) (1)	2(13) (2)	1(5) (2)				1(1) (2)	1(5) (1)	1(2) (1)	1(2) (1)								1(6) (1)	1(3) (1)		'74
	1(6) (1)	1(8) (1)	1(3) (1)				1(1) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)	1(2) (1)								1(6) (-)	1(2) (1)		'75
	1(6) (1)	1(9) (1)	1(2) (1)				1(1) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)	1(2) (1)								1(6) (1)	1(2) (1)		'76
	1(5) (1)	1(6) (1)	1(2) (1)	1(6) (1)			1(1) (1)	1(1) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)								1(6) (1)	1(2) (1)		'77
	1(6) (1)	1(6) (1)	1(2) (2)	1(4) (1)			1(4) (1)	1(1) (1)	1(3) (1)	1(1) (1)								1(6) (1)	* (1)		'78
	1(5) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)	1(5) (1)			1(3) (1)	1(2) (1)	1(5) (1)	1(3) (1)								1(4) (1)			'79
	1(3) (1)	1(5) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)			1(4) (1)	1(2) (1)	1(4) (1)	1(2) (1)								1(3) (1)			'80
	1(4) (1)	1(5) (1)	1(1) (1)	1(3) (1)			1(3) (1)	1(2) (1)	1(3) (1)	1(2) (1)								1(2) (1)			'81
	1(5) (1)	1(5) (1)	1(6) (1)	1(3) (1)			1(4) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)								1(3) (1)			'82
	1(5) (1)	1(6) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)			1(4) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)								1(3) (1)			'83
	1(4) (1)	1(7) (1)	1(4) (1)	1(3) (1)			1(3) (1)		1(4) (1)	1(3) (1)											'84
	1(3) (1)	1(6) (1)	1(6) (1)	1(3) (1)			1(3) (1)		1(6) (1)	1(3) (1)											'85
	1(3) (1)	1(7) (1)	1(3) (1)	1(3) (1)					1(5) (1)	1(3) (1)											'86
	1(3) (1)	1(7) (1)	1(2) (1)				1(4) (1)		1(6) (1)	1(2) (1)											'87
	1(2) (1)	1(5) (1)	1(2) (1)				1(3) (1)		1(3) (1)	1(2) (1)											'88

\* 『昭和53年度 鳥取県教育関係職員録』(1978) に担任のみ記載されている。

表5. 『鳥取県教育関係職員録』の記載の確認 (学級数記載及び担任記載) (1988. 8. 渡部)

区 分	『教育行政便覧』			『鳥取県教育関係職員録』							
	中 学 校 内 特 殊 学 級 設 置 校 (校)	二 学 級 設 置 校	三 学 級 設 置 校	担任 未記載校		担任 記載校					
				学級数 未記載	学級数 記載	学級数 未記載	学級数 誤記載	学級数 記載	合計		**** 記載 担任数 (人)
									(校)	(%)	
年 度											
'62	1	—	—	1				—	—	(—)	—
'63	7	—	—	4		1		2	3	(43)	3
'64	14	1	—	4	1	1		8	9	(64)	9
'65	18	3	—	3	3	4		8	12	(67)	16
'66	24	4	—	6	2	4		12	16	(67)	28
'67	26	9	—	5	2*	6*		13	19	(73)	42
'68	33	9	—		12	1		20	21	(64)	32
'69	40	9	1		13			27	27	(68)	36
'70	42	12	—		15**			27**	27	(64)	35
'71	43	13	—		7			36	36	(84)	53
'72	44	13	—		3			41	41	(93)	64
'73	44	11	—		2			42	42	(95)	64
'74	43	9	—					43	43	(100)	61
'75	43	7	—		1			42	42	(98)	57
'76	43	5	—					43	43	(100)	53
'77	44	5	—					44	44	(100)	54
'78	44	6	—					*** 44<1>	*** 44<1>	(100)	*** 57<1>
'79	46	6	—					46	46	(100)	56
'80	48	5	—					48	48	(100)	57
'81	47	4	—					47	47	(100)	53
'82	46	6	—					46	46	(100)	54
'83	45	7	—					45	45	(100)	55
'84	44	5	2					44	44	(100)	55
'85	45	5	2					45	45	(100)	57
'86	41	5	1					41	41	(100)	51
'87	41	4	—					41	41	(100)	45
'88	41	3	—				1	40	41	(100)	45

\* 同一校の2校舎に特殊学級があり、1校舎は「担任未記載、学級数未記載」であったが、他の1校舎が「担任記載、学級数未記載」であったので、後者にカウントした。  
 \*\* 同一校の2校舎に特殊学級があり、1校舎は「担任未記載、学級数未記載」であったが、他の1校舎が「担任記載、学級数記載」であったので、後者にカウントした。  
 \*\*\* 「教育行政便覧」に記載がないが『鳥取県教育関係職員録』に記載のある1校1学級1担任は除外した (<>外数)。  
 \*\*\*\* 記載担任数は延べ総計 1,192人である。

まず、特殊学級（学級数）の記載について確認する。特殊学級の設置が学級数として記載されていない箇所を表4の『教育行政便覧』の学級数の下段に○で囲って示したが、未記載校は1962年度1校（100%）、1963年度5校（71%）、1964年度5校（36%）、1965年度7校（39%）、1966年度10校（42%）、1967年度11校（42%）、1968年度1校（3%）であり、以降の記載洩れはない（但し、1988年度に1校だけ学級数の誤記載がある）。

## 2. 担任の記載

学級数の未記載は1969年度以降はないが、担任の未記載はそれ以降も継続している。従って、学級数・担任ともに未記載の学校ではなく、学級数は記載されているにも関わらず担任が記載されていない学校がなお1969年度以降も存在した。

担任未記載の箇所を表4の各年度の下段に（一）で示した。即ち、1962年度1校（100%）、1963年度4校（57%）、1964年度5校（36%）、1965年度6校（33%）、1966年度8校（33%）、1967年度7校（27%）、1968年度12校（36%）、1969年度13校（33%）、1970年度15校（36%）、1971年度7校（16%）、1972年度3校（7%）、1973年度2校（5%）、1975年度1校（2%）であった。1974年度及び1976年度以降については担任名が記載されていた。

以上のようにして、担任名が確認されたのは、1962～88年度に中学校内特殊学級を開設していた延べ997校中913校分（92%）、延べ総計1,192担任分である。

ところで、『鳥取県教育関係職員録』の未記載について、面白い傾向が認められた。それは、未記載が特定の市郡・学校に多いことである。未記載が際だったのは鳥取市（鳥取東、西、南、湖東中学校、組合立の邑法第一中学校）、岩美郡（岩美、福部中学校）、八頭郡の一部（中央中学校）など東部の郡市であった。これに対して、境港市は設置当初から学級数・担任名が記載されており、また、東伯郡、米子市でも、学級数の記載は少なくとも当初から担任名は記載されていた。

『鳥取県教育関係職員録』の発行主体であり、編集事務局の所在する鳥取県教育委員会は、特殊学級数に関しては学校基本調査などで正確に把握しているものの、校内人事である特殊学級担任に関しては把握が遅れたとも推測される。この場合は、単なる編集上の問題ということになる。

一方、東部の郡市においては、当初、学級担任制を採っていなかったことも考えられる。このことに関連して、特殊学級の教科担任を全て「特殊」と記載している学校も数例見られた。この点、一般には教科担任制を採る中学校において、特殊学級が学級担任と教科担任でどのように分担・連携され運営されていたのかも、「人事」と併せて解明すべき課題となろう。

更には、何等かの事情で特殊学級が設置されていることや担任の公表を差し控えたことも推察される。これも、今後解明すべき一課題であろう。

次回の第3報告においては、第2報告で確定した『鳥取県教育関係職員録』の担任名を更に他資料で補正しながら、第1報告で述べた分析手法に基づいて、中学校内特殊学級人事の分析を行う予定である。

〔追記〕本報告にあたり、鳥取大学教育学部の遠藤盛男教授には『学校基本調査報告書』の、鳥取県教育委員会総務課には『教育行政便覧』の、鳥取県教育研修センター図書室及び鳥取大学付属図書館郷土資料室には『鳥取県教育関係職員録』の利用の便宜をいただきました。また、鳥取大学教育学部附属養護学校の山里一夫教諭からは『めばえ 第25号』の寄贈を受けました。ここに記して

感謝申し上げます。

### 〈注〉

- 1) 拙稿「障害児教育における人事行政一職員録を用いた分析手法一」『関西教育学会紀要』第12号 (1988)。
- 2) 「特殊学級」という用語は障害児教育現場で「障害児学級」等に見直されている。鳥取県においても、1988年10月21日付鳥取県教育委員会教育長名通知「『特殊教育』等の呼称変更について」(発指第215号)により、「特殊学級」を「心身障害児学級」と県内共通用語として呼称変更することになった(1988年11月1日より)。しかし、本稿では旧呼称時期を扱っていることもあって、ここでは学校教育法第75条に規定された「特殊学級」をそのまま使用した。
- 3) 鳥取県教育研修センター『特殊教育に関する調査報告(昭和57年度第一第1次報告)』(1983)によれば、1987年9月の調査時点で、「特殊教育に携わった動機」として、鳥取県下の小学校特殊学級の担任：自分から希望して-36%、仕方なく-17%、どちらともいえない-47%、中学校特殊学級の担任：同じく12%、21%、68%、特殊教育諸学校教師：同じく44%、19%、38%となっており、中学校特殊学級担任において希望人事が最も少なくなっていた。同様の報告は、窪島務『1979(昭和54)年度京都府下・公立小中学校併設障害児学級における教育の現状と課題に関する実態調査の第1次報告』京都府障害児教育研究会(1980)でもなされている。
- 4) 鳥取大学創立30周年記念史編集・刊行委員会編『鳥取大学30年史』鳥取大学(1983) p.208.
- 5) 鳥取県特殊教育百年事業実行委員会編『鳥取県特殊教育の歩み』(1978) p.42.
- 6) 同上書 p.58.
- 7) 同上書 p.60.
- 8) 鳥取県立皆成学園『十年の記録 保護と教育』皆成学園後援会(1959) p.95 及び、同『皆成学園20年史』同(1969) p.84.
- 9) 鳥取県教育委員会『鳥取県教育要覧 昭和32年度版』(1958) p.56.
- 10) 鳥取県教育委員会『鳥取県教育要覧 昭和37年度版』(1963) p.73. なお、昭和37年度版となっているが、記載は昭和36年度の事項である。生徒16人の内訳は、1年生5人、2年生11人、3年生0人であった。『きぼう 第25号』の大西教諭の回顧によると、2年生のみ「合計10数人」が指導対象であったという。
- 11) 鳥取市編『鳥取市誌(Ⅰ) 昭和33年~昭和45年まで』(1972) p.665.
- 12) 鳥取市教育委員会編『鳥取市教育百年史』(1974) p.711.
- 13) 鳥取県特殊教育研究会編『25周年記念号 きぼう 第25号』(1987) p.41.
- 14) 前掲書『鳥取市誌(Ⅰ)』 p.665.
- 15) 山里一夫「鳥取県」全日本特殊教育研究連盟編『日本の精神薄弱教育—戦後30年—第6巻 地域史Ⅲ・西日本』日本文化科学社(1979) p.8.
- 16) 文部省『特殊教育百年史』東洋館出版(1978) p.207.

(昭和63年8月31日受理)

